



■平成29年度との比較		平成30年度	平成29年度
患者数	入院	17,420人	19,023人
	外来	23,776人	23,309人
診療単価 (患者1人・1日当たり)	入院	22,706円	22,077円
	外来	6,463円	6,590円
病床利用率		52.4%	57.3%
平均在院日数		19日	18日

数はのべ23,776人（一日平均97.4人）で、前年度と比較し467人（一日平均1.9人）の増加となりました。

また、夜間・休日の救急患者の受け入れ人数は1,733人（前年度1,769人）であり、うち救急車搬送人数は128人（前年度164人）でした。

なお、健康管理センターでの健診受診者延数は2,617人（前年度2,699人）、居宅介護支援事業所のケアプラン作成件数は1,463件（前年度1,515件）、訪問看護ステーションの利用者数は501人（前年度474人）、延訪問回数は2,769回（前年度

2,449回）となっています。

令和元年度は、これまでの経営の効率化などに加えて、平成29年度に策定した「新公立病院改革プラン」に沿った数値目標に向かって、さらなる経営の改革に取り組んでいきます。

改革プランの実績

項目	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	目標値
経常収支比率 (%)	97.2	91.6	98.5	96.5	99.7	100以上
医業収支比率	86.0	81.3	88.2	88.6	90.8	90以上
職員給与比率 (%)	73.1	78.2	71.2	73.1	71.1	69以下
病床利用率 (%)	68.6	66.9	71.7	57.3	52.4	83以上

※項目は、経常収支比率、医業収支比率、職員給与比率、病床利用率を掲載
注) 目標値は、平成29年度から令和2年度までの「新公立病院改革プラン」に沿った目標値となっています。

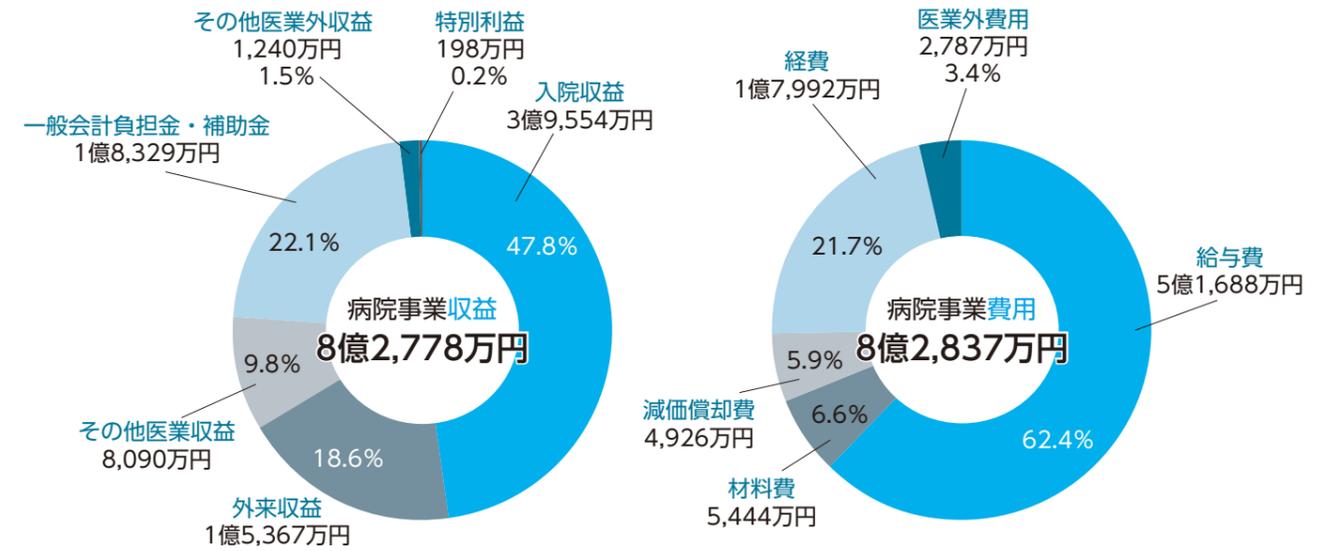
用語の説明

経常収支比率……経常的な経営活動に伴う収益から費用を差し引いたもの。この数値が100%を超える場合は経常黒字、100%未満であれば、経常赤字を示します。 $(\text{経常収益} / \text{経常費用}) \times 100$

医業収支比率……医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示す指標。経常収支比率と同様にこの比率が100%以上であることが望ましい。 $(\text{医業収益} / \text{医業費用}) \times 100$

職員給与比率……病院の職員数などが適切か否かを判断する指標。職員給与費をいかに適切なものとするかが病院経営のポイントとなります。 $(\text{職員給与費} / \text{医業収益}) \times 100$

病床利用率……病院の施設が有効に活用されているかどうか判断する指標。病床利用率が恒常的に低い場合は、病床規模が適切か否かを検討する必要があります。 $(\text{年延入院患者数} / \text{年延病床数}) \times 100$



平成30年度の概況

和水町立病院は、昭和23年3月江田町外三ヶ村組合立国民健康保険共済病院としてスタートし、平成31年3月で創立71年を迎えました。病院理念である、医療を通じて住民が安心して生活できる社会づくりに貢献するために、公的医療機関としての役割と責務を果たすとともに、公営企業としての効率性を高めるよう職員一丸となり努めています。

当院の入院および外来患者の利用状況を分析すると、入院患者の8割、外来患者の9割が町内の患者となっていて、患者の平均年齢では入院患者は83歳、外来患者は70歳と町内の高齢者への医療が中心となっています。

今後も町内の少子高齢化による人口減少は進むものの、高齢化率は上昇すると想定されます。医療を通じて住民が安心して生活できる社会づくりに当院は欠かせない医療機関であり、地域医療の改革等による医療機関の役割の明確化の中で、当院の回復期および慢性期病院としての役割は重要であると考えています。

収入は、入院収益では一般病床の患者数は増加しましたが、国の政策により療養病床の介護型療養病床を医療型療養病床へ移行したことで、患者の確保に期間を要したため、入院収益が減少しています。外来収益は、ケアバス利用者の増加などにより収益も増加しています。

一方、経費は、前年度に引き続き正職員と非常勤職員の雇用形態見直しによる人件費の削減、また減価償却費の減少などにより前年度から大きく減少しています。

これらの結果、平成30年度の決算は、収入が8億2,778万円、支出が8億2,837万円となり、59万円の純損失となりました。

患者数などの状況

平成30年度の入院患者数はのべ17,420人（一日平均47.7人）で、前年度と比較し、1,603人（一日平均4.4人）の減少となり、病床利用率は52.4%（前年度57.3%）となりました。外来患者